

## 評価結果概要版

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

令和元年度(2019年度)

認可保育所

法人名称	社会福祉法人陽光会
事業所名称	練馬区立桜台第二保育園
事業所所在地	東京都練馬区桜台3丁目39番17号
事業所電話番号	03-3993-5126

## 事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)	1)利用者を中心に、子ども一人ひとりを大切に、子どもの最善の利益を守る。 2)利用者と保護者が安心して利用できる保育園をめざす。 3)地域・社会のニーズに迅速に対応し、地域・社会に貢献する。 4)利用者やその家族、地域、関係諸団体との繋がりを大切に、協力・連携していく。 5)職員は保育の質を高めるため自らの能力を高め、安心して働ける保育園をめざす。

## 全体の評価講評

### 特に良いと思う点

- 保育の実践で取り組んだ内容を対外的に発表し、さらなる保育の充実につなげている**  
 園が目指す保育目標を実現していくために、保育指針に関する研修など内部、外部の研修に職員が参加し、得られた知識を保育に活用している。具体的な課題を取り上げ、取り組みの経過や内容、振り返りを外部に発表している。発表は、東京都社会福祉協議会、全国的な保育所の団体の場で行い、発表までに職員が一丸となって取り組みをすることによってチーム力が強化されている。発表後に外部から寄せられる好評的な意見は、職員の達成感となり、また、出される様々な意見をさらなる保育の充実につなげている。
- 地域連携や地域交流事業を通じて、地域の子育ての拠点として機能を発揮している。**  
 園では、地域との連携やネットワークづくりのため、幼保小の連携による取り組みや家庭福祉員や小規模保育園との連携、近隣保育園との交流と情報交換などを積極的に行なっている。また、地域交流事業として園庭開放やふれあい給食、育児相談などを行ない、多くの親子が参加している。さらに、看護師や保育士を派遣して地域の子育て支援をしているほか、ボランティアを積極的に活用するなど、地区区民館を併設している利点も活かしながら保育園を交流の場として多様な人ががかわりながら、地域の子育ての拠点として機能を発揮している。
- 異年齢合わせて全園児がリズム活動に取り組み、身体の基本づくりに役立っている**  
 法人保育園でリズム活動を学んできた保育士を中心に全園の子どもがリズム活動に取り組んでいる。幼児リズムの日、乳児リズムの日と別々におこなうこともあり、各年齢、発達に合わせて実施している。体幹を鍛える活動は徐々に回数を増やすことで、身のこなしや身体の使い方が変わってきており、身体の基本づくりに役立っている。それに加えて散歩先でも日常的におこなっており、その成果として、長い距離を歩けるようになってきている。運動会で発表する荒馬踊りへも影響し、身体動作がしっかりとできており、リズム活動の効果は出ている。

### さらなる改善が望まれる点

- 環境の変化の中でさらなる中長期的な展望を取り入れた計画の策定に期待したい**  
 園は人事に関する中長期的展望を持っているが、さらに中長期的な計画にしていくことが求められる。保育職員の確保が困難になっていることや保育指針の改定など園を取り巻く環境が変化している。変化の先を見据えた中長期的な展望と、それに合わせた計画の策定が望まれる。計画に期間と達成すべき目標と方法を明記することによって、職員の取り組み目標が明らかになり、達成状況を職員間で共

有することができる。また、毎年度の事業計画の策定に際しても、中長期的計画を踏まえることによって、より一層計画的な事業が運営される。

- **園での保育の取り組みが保育士のスキルと専門性に基づいて実施されていることをより分かりやすく、積極的にしめしていくことが求められる**

「子どもが主人公」を保育のモットーに、戸外活動やリズム運動・描画の活動に意欲的に取り組んでいる。しかし、一方で保護者のアンケートにも見られるように、保護者の関心はどうしても、保護者会の開催時間や行事の日程など、より一層の利便性とサービスの提供に向かいがちである。園での保育や行事が、子どもの状況や発達段階に応じた固有のねらいと配慮に基づいて実施されており、そこに保育士のスキルと専門性があることを積極的にかつ分かりやすく説明して、保護者との共育でやっていくことが今後の課題と思われる。

- **第三者委員を活用した苦情解決制度のしくみの周知の検討が望まれる**

園には苦情解決に対する仕組みが整備され、また、第三者委員が配置されているが、その周知度は低い。また、園の玄関には、苦情相談に関してA4判に細かな文字で記載されて掲示されているが、余程気を付けて探さなければわかりにくいものとなっている。現在、園では、入園説明会の場で苦情解決制度の説明を行っているが、今後、年度初めの保護者会などによっても説明するなどして、苦情解決のしくみを積極的に伝えていくことが必要と思われる。

## 事業者が特に力を入れている取り組み

- ★ **利用者と保護者が安心して利用できる保育園として、安全対策に力を入れている**

子どもたちの安全は、園の重要な課題としており、職員数を基準より多く配置し、子どもたち事故防止などの見守りや保育内容を実らせている。安全に楽しく園庭で遊べるよう危険箇所のチェックを職員が定期的実施している。また、看護師が朝の視診によって全園児の健康状態を把握している。事故やヒヤリハットが起きた場合は速やかに報告書にまとめ、再発防止につなげている。報告内容をトップ会議やリーダー会議で検討し防止対策を決め、職員会議や朝礼等で周知され、同様な事例が繰り返されない取り組みをしている。

- ★ **様々な行事を通じて、保護者の保育への理解を得ている**

園では、運動会やお店やごっこ、あるいは焼き芋など多くの行事に取り組み、その準備段階から子どもが主体として取り組むことを大切にしている。子どもたちは、行事の準備を通じて、みんなで協力し合うこと大切さを学ぶと同時に、大きな達成感を味わうことが出来ている。また、行事の準備から関わる子どもの姿を保護者に積極的に伝えることで、保護者の園への理解や協力を得る力にもなっており、行事への保護者参加率も高い。さらに、焼き芋活動などの行事は地域の保育園なども巻き込みながら地域の交流事業としても成果をあげている。

- ★ **怪我をしない工夫や病気の予防など健康面に関してカバーしている看護師の存在は大きい**

看護師は全保育園児を見るということでフリーの立場で毎日クラスを巡回して子どもの様子や顔色を見て変化を見つけるようにしている。子どもの発達や一人ひとりの特性をみながら、危険箇所を把握して怪我や事故防止に努めている。毎月「保健だより」を発行して、その時期に必要な、食中毒や熱中症、感染症等の注意情報を保護者に提供して予防につとめている。「保育園サーベランス」システムを活用して感染症発生を早期に把握して保護者に伝えたり、発達や病気の相談にのる等、健康面のカバーをしている。看護師の役割は大きく、信頼できるものである。

## 利用者調査結果

### 調査概要

- **調査対象**: 全園児世帯の保護者を対象としてアンケート調査の手法により実施した。
- **調査方法**: アンケート方式  
郵送によるアンケート調査を実施した。園から調査票を配付して頂き、回収は評価機関へ直接郵送とした。
- 利用者総数: 104人
- 利用者家族総数(世帯): 104世帯
- 共通評価項目による調査対象者数: 104人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 79人
- 利用者家族総数に対する回答者割合(%): 76.0%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

有効回答者数/利用者総数  
79/104

1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	はい 100%		
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	はい 97%		
	□どちらともいえない:1% □いいえ:1% □無回答・非該当:0%		
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	はい 91%		
	□どちらともいえない:9% □いいえ:0% □無回答・非該当:0%		
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	はい 95%		
	□どちらともいえない:4% □いいえ:1% □無回答・非該当:0%		
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	はい 67%	どちらともいえない 14%	無回答・非該当 18%
	□いいえ:1%		
6. 安全対策が十分取られていると思うか	はい 57%	どちらともいえない 33%	
	□いいえ:9% □無回答・非該当:1%		
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	はい 58%	どちらともいえない 34%	
	□いいえ:4% □無回答・非該当:4%		
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	はい 72%	どちらともいえない 23%	
	□いいえ:3% □無回答・非該当:3%		
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	はい 86%	どちらともいえない 11%	
	□いいえ:0% □無回答・非該当:3%		
10. 職員の接遇・態度は適切か	はい 75%	どちらともいえない 20%	
	□いいえ:3% □無回答・非該当:3%		
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい 67%	どちらともいえない 24%	
	□いいえ:5% □無回答・非該当:4%		
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	はい 51%	どちらともいえない 30%	無回答・非該当 13%
	□いいえ:6%		
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	はい 80%	どちらともいえない 18%	
	□いいえ:0% □無回答・非該当:3%		
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	はい 71%	どちらともいえない 19%	
	□いいえ:4% □無回答・非該当:6%		
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	はい 76%	どちらともいえない 19%	
	□いいえ:1% □無回答・非該当:4%		
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	はい 62%	どちらともいえない 23%	無回答・非該当 13%
	□いいえ:3%		

17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	はい 25%	どちらともいえない 24%	いいえ 18%	無回答・非該当 33%
--	-----------	------------------	------------	----------------